



何ごとも
解釈次第?

コラタン たのしみ



認知症サポーター養成講座とは?

私たちコラルトでは、新宿区の「認知症サポーター養成講座」を新宿2丁目で定期的に開催していくことを、コアな活動と位置付けています。

今回は、そんな認知症サポーター養成講座について、ご紹介します。

新宿区では福祉部-高齢者支援課を主幹として認知症サポーター養成講座を開催しています。

90分の講座を1回受講し、認知症という病気の理解や対応方法などの基礎を学びます。

新宿区では平成20年度からこの講座を開催しており、自分のことやご家族のこととしても大変参考になると好評で、令和5年3月末には、2万7,000人を超える認知症サポーターが誕生しました。

認知症サポーターは特別なことをするわけではありません。

認知症について正しく理解し、偏見を持たず自分のできる範囲でご本人やご家族を見守り、支援します。

たとえば学んだ知識を家族や友人に伝えたり、ご本人やご家族の気持ちを理解しようと努めることだけでも、サポーターの活動です。

多くの方がサポーターになることで支援の輪が広がっていきます。

受講された方には、認知症サポーターのしるしである「認知症サポーターカード」を差し上げます。



新宿区民に限らず、老若男女どなたでも参加大歓迎です!
新宿で遊びながら学ぼう! 知識はチカラ! 理解はタカラ!



認知症サポーター養成講座を運営するにあたり、2022年に一番売れた認知症の本「認知症世界の歩き方」を生み出したCOOLなチーム“issue+design”が、2023年10月に新しくリリースしたばかりの教材を使用することになりました。スタートのタイミングもバッチリ! です。



楽しくてわかりやすい教材です!

認知症世界の歩き方」のコンテンツを活かしながら、カードを使ったワークショップやスライドなど、チームが得意とする「デザインのチカラ」を最大限に引き出した教材となっています。

皆さんが「認知症当事者の視点」で、参加者同士が楽しみながら、認知症という疾患の本質や認知症のある方との関わり方を学べる内容となっています。

今後は5人に1人が認知症を発症するというデータがあります。これからは認知症のことを理解していることがオトナの「たしなみ」となっていくことと感じます。

今回は紹介できませんでしたので、次回からは数回にわたって、私たちが目指すコミュニティ・デザインのカタチについてご紹介していきます。(たいこん)

